

京都府総合計画の 進捗状況について

令和7年8月27日
京都府総合計画推進会議



京都府

京都府総合計画の概要

■ 京都府総合計画の概要

- ◆ 令和4（2022）年12月改定（計画期間：令和5年4月～令和9年3月末）
- ◆ 「将来構想」「基本計画」「地域振興計画」により構成
- ◆ 「基本計画」には、京都府がめざす施策の方向性を「安心」、「温もり」、「ゆめ実現」の3つの視点に基づいてまとめた「**8つのビジョンと基盤整備**」や府全域で連携して相互に施策効果を高めていく「**8つの広域連携プロジェクト**」を示したほか、103の数値目標を設定
- ◆ 【評価項目】 **令和6年度の実施状況**

将来構想

2040年に実現したい**京都府の将来像**を描いた構想

基本計画

8つのビジョンと基盤整備

- ・ 将来像の実現に向けて、8つのビジョンとそれらを支える基盤整備について記載

8つの広域連携プロジェクト

- ・ 府域の均衡ある発展に向けて、オール京都のプレーヤーと府全域で連携

分野別基本施策

- ・ 20の分野別に、現状分析・課題、4年間の対応方向・具体方策、数値目標を体系的に明示

地域振興計画

山城・南丹・中丹・丹後の広域振興局ごとに、各地域の資源や特性を生かした地域振興策

京都府総合計画の令和6年度の実施状況 ～ 8つのビジョンと基盤整備～

① 安心できる健康・医療・福祉の実現

人生100年時代に対応した、府民が安心して地域生活を営める、危機に強い健康・医療・福祉システムを創り上げ、質の高い、持続可能な医療・介護・福祉サービスを府内のどの地域でも受けられる環境を実現

これまでの取組

「主要な方策」に係る取組例

総合計画に掲げた主要な方策（抄）

- ▶ 情報の速やかな集約・分析機能を備えた「京都版CDC（疾病予防管理センター）」の創設

令和6年度の進捗状況



令和5年5月に成立した国立健康危機管理研究機構法に基づく新たな専門家組織である「**国立健康危機管理研究機構(略称：JIHS)**」の設立に向けた国の準備にあわせて、**情報収集や内部検討**を実施

令和7年度以降の方向性



新興感染症等の発生に備え、**府市連携による「京都版CDC」の令和8年度創設**に向けて、その具体的な機能等を検討（将来的には西日本の拠点としての機能を持つ組織を目指す）

令和6年度その他取組例

精神障害者の医療助成制度の創設

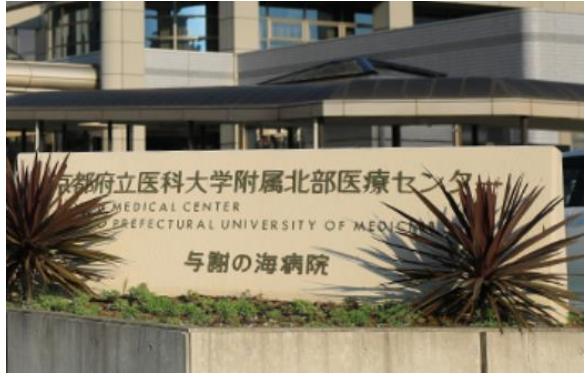
- ▶ 重度心身障害者の医療に係る経済的な負担を軽減するため、身体障害・知的障害のある方だけでなく**精神障害のある方も対象とした制度を創設（R6年8月～）**し、医療費の**自己負担相当分の全額を助成**



重度障害	精神障害1級
重複障害等	精神障害2級かつ身体障害3級、精神障害2級かつIQ概ね50以下 など

「北部キャンパス地域医学コース」の開設

- ▶ 府立医科大学に北部キャンパス（大学院）を新設し、**北部医療センターの教育・研究機能を強化**
- ▶ **北部勤務医師のキャリア形成を支援**し、地域で働く若手医師の不安を解消することで、**北部地域の医師確保を推進**



到達目標及び達成状況

目標	R6実績数値 〔参考：R5〕	達成率 〔参考：R5〕
▶ 「健康寿命」を2016年から2026年までに 1.25歳延伸 する	男性72.14歳 女性75.78歳 (R4年度) 〔公表なし〕	— 〔—〕
▶ 「介護老人福祉施設・介護老人保健施設等の入所定員総数」を2023年度に 24,214人(床) とする	23,966人(床) (R7.3月時点) 〔23,947人(床)〕	99.0% 〔98.9%〕
▶ 「介護人材」を2021年度から2023年度の3箇年で新たに 7,500人 確保する	7,758人 (R3～5の累計) 〔7,758人〕	103.4% 〔103.4%〕
▶ 「介護予防事業（サービス内容や地域等）を拡充したNPO数」を2026年度に累計 300団体 とする	246団体 (R7.3月時点) 〔200団体〕	82.0% 〔66.7%〕

② 災害・犯罪等からの安心・安全の実現

あらゆる分野に潜むリスクに対し、危機を未然に防ぎ、被害を最小限に抑える対策や仕組みづくりを進め、府民との信頼関係を土台に、あらゆる危機事象に迅速かつ的確に対応できる危機に強い京都づくりをオール京都で構築

これまでの取組

「主要な方策」に係る取組例

総合計画に掲げた主要な方策（抄）

- ▶ 災害時における子どもの安全確保や災害への対応能力育成のための、児童生徒や教職員向けの防災教育の充実

令和6年度の進捗状況

令和6年能登半島地震への派遣や国における「被災地学び支援派遣等枠組み（D-EST）の構築」に関する方針を受け、**災害時に早期に学校教育活動を再開できる支援体制の構築を検討**

令和7年度以降の方向性

京都府災害時学校支援チーム（D-EST京都）を創設し、災害発生時における学校教育活動の早期再開に向けた支援体制を構築することで、府全域の教育面での災害対応力を強化

令和6年度その他取組例

総合的な減災・防災対策

- ▶ 令和6年7月25日から**危機管理センターの全面運用を開始**
 - ・ヘリコプター等の空撮映像をリアルタイムで関係機関と共有できる**映像情報システム**や、関係機関からの応援職員が一堂に会し、大型モニターにより共有した情報に基づき対応を調整する**オペレーションルーム**を整備
- ▶ **近畿府県合同防災訓練の実施（約100機関、約2,200人が参加）**



耐震化支援制度の拡充

- ▶ 令和6年能登半島地震を踏まえた時限的措置として、補助基本額、補助率を引き上げるにより、自己負担を大幅に軽減し、耐震化を加速するため、**耐震化支援制度を緊急的に拡充【支援実績：24市町村、351戸】**

木造住宅 (耐震改修)	<ul style="list-style-type: none"> ・補助基本額を150万円（拡充前:125万円）に引き上げ ・補助率を1/3（拡充前:1/5）に引き上げ
大規模建築物 (耐震改修)	<ul style="list-style-type: none"> ・補助率を1.5倍に引き上げ ・補助対象に「除却」を追加



到達目標及び達成状況

目標	R6実績数値 〔参考：R5〕	達成率 〔参考：R5〕
▶ 「防災士資格取得者の人数（累計）」を 2,700人 にする	3,501人(累計) (R7.3月時点) 〔2,662人(累計)〕	129.7% 〔98.6%〕
▶ 「刑法犯認知件数」を 年間15,000件以下 に維持する	12,059件 (R6.12月時点) 〔11,885件〕	119.6% 〔120.0%〕
▶ 「年間の交通事故死者数」を 40人以下 に減少させる	52人 (R6.12月時点) 〔59人〕	70.0% 〔52.5%〕

③ 子育て環境日本一・京都の実現

「社会で子どもを育てる京都」の実現に向け、「子育て環境日本一」の取組を進化

これまでの取組

「主要な方策」に係る取組例

総合計画に掲げた主要な方策（抄）

- ▶ 子どもや子育て世代を社会全体であたたかく見守り支える取組の推進



令和6年度の進捗状況

京都府・京都市がそれぞれに設置し、複数にわかれていた妊娠・出産・子育てに関する相談窓口について、**府市が連携し、利便性の向上を図るため、総合窓口として統合すべく検討を開始**



令和7年度以降の方向性

府市連携により、妊娠・出産・子育ての相談窓口を一本化し、24時間365日受付体制を整備。子育て環境日本一の実現に向け、オール京都体制で若者世代に選ばれる京都づくりを更に推進

令和6年度その他取組例

京都版ミニ・ミュンヘンの初開催

- ▶ 若者と子どもの交流機会を創出し、「子育ては楽しいもの」というポジティブなイメージを広げるため、**若者等がサポートし、子どもが主役で運営する「京都版ミニ・ミュンヘン」**を福知山市、八幡市で実施

【参加者数：計540人】

※ミニ・ミュンヘン

ドイツの「ミニ・ミュンヘン」のように、子どもたちだけの仮設のまちをつくり、子どもたち自身が、通貨や税金、まちのルールを決め、選挙によって市長を選び、まちを運営する取組。



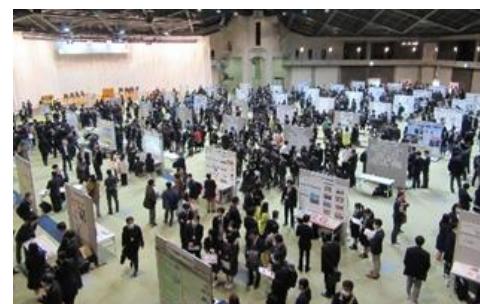
通貨
(デザインも子どもたちが作成)



府立高校と市立高校の連携

- ▶ 府立・市立高校が連携し、**生徒が探究活動の成果を発表する機会を創出する「京都探究エキスポ」**を開催

- ・ **府立・市立あわせて51校が参加**
- ・ 約100ブース、**約500名の高校生が活動の成果を発表**
- ・ 有識者による基調講演やパネルディスカッションも実施



到達目標及び達成状況

目標	※ 当該ビジョンに関する到達目標 7指標のうち、4指標を抜粋	R6実績数値 〔参考：R5〕	達成率 〔参考：R5〕
▶ 「住んでいる地域が、子どもが育つのに良い環境だと思う人の割合」を 90.0% に上昇させて維持する		75.7% (R6.6月時点) 〔74.5%〕	84.1% 〔82.8%〕
▶ 「子育てに喜びや楽しみを感じている親の割合」について 96.0%以上 をめざす		94.2% (R6.6月時点) 〔92.2%〕	98.1% 〔96.0%〕
▶ 「子育て環境日本一に向けた職場づくり行動宣言を行った企業数」を 3,000社 にする		2,885社 (R7.3月時点) 〔2,477社〕	96.2% 〔82.6%〕
▶ 「合計特殊出生率」を2040年に 全国平均 並みとなることをめざす ※R6：全国平均1.15		1.05 (R6.6月時点) 〔1.11〕	91.3% 〔92.5%〕

4 誰もが活躍できる生涯現役・共生京都の実現

地域や社会との絆を大切にしながら、新たな働き方や多様な価値観の広がりを踏まえた機会の提供や能力の開発を進め、包摂的で多様な人材がより社会参画・活躍できる共生社会を実現

これまでの取組

「主要な方策」に係る取組例

総合計画に掲げた主要な方策（抄）

- ▶ 「京都ウィメンズベース」、「マザーズジョブカフェ」、「京都府男女共同参画センター（らら京都）」、「京都府生涯現役クリエイティブセンター」が連携した、女性のキャリア形成等への支援

令和6年度の進捗状況



京都ウィメンズベース・マザーズジョブカフェ・京都府男女共同参画センターの3所が連携し、**女性活躍をワンストップで支援**

令和7年度以降の方向性



中小企業における女性活躍やワーク・ライフ・バランスに関する取組を推進するための相談・制度整備等の支援や企業の中核人材となる女性の育成研修等を実施

令和6年度その他取組例

京都企業人材確保センター・京都お仕事相談窓口の新設

- ▶ ジョブパーク、テレワーク推進センター、生涯現役クリエイティブセンターの**企業支援部門を統合した「京都企業人材確保センター」**を創設

【実訪問企業数：6,024社、人材確保数7,434人(R6年度)】

- ▶ 求職者、在職者の問い合わせを一元的に受け付け、**ニーズに合った最適な支援機関や制度を紹介する「京都お仕事相談窓口」**を開設

【相談件数：1,920件(R6年度)】



多様な担い手の確保

- ▶ 各業界の実態に合った人手不足への対応や高度人材の育成に向け、**各業界特有の担い手確保に係る課題解決を支援**

- ・建設業：DXやICT活用による**生産性向上や労働者の処遇改善**に繋がる取組
- ・地域交通：トイレや仮眠施設整備等の**労働環境改善**を支援
- ・観光業：他業種連携により**新しい観光サービスを提供できる人材**の育成



到達目標及び達成状況

目標	R6実績数値 〔参考：R5〕	達成率 〔参考：R5〕
▶ 「仕事をはじめ社会的な生活を営む上で、自分の持っている才能や知識、技量などが十分に発揮できていると思う人の割合」を 70.0% に上昇させる	49.2% (R6.6月時点) 〔51.9%〕	70.3% 〔74.1%〕
▶ 「京都府生涯現役クリエイティブセンター等での就業（失業なき労働移動）支援件数」について、毎年度 3,300件 の実施をめざし、 2026年度に累計13,200件 とする	9,011件 (R7.3月時点) 〔4,115件〕	68.3% 〔31.2%〕
▶ 「今の社会は、性別によってやりたいことが制限されていると思わない人の割合」を 70.0% に上昇させる	48.9% (R6.6月時点) 〔48.4%〕	69.9% 〔69.1%〕

⑤ 共生による環境先進地・京都の実現

ライフスタイルの変化を環境負荷の低減につなげ、環境に配慮した活動を地域経済の活性化につなげる、環境×暮らし×経済の好循環をめざす、環境と共生した社会づくりを推進

これまでの取組

「主要な方策」に係る取組例

総合計画に掲げた主要な方策（抄）

- ▶ 脱炭素テクノロジー（ZET）関連スタートアップ企業と事業会社等の交流、まちづくりへの技術導入等を促進する拠点「ZET-valley」の形成による、最先端技術を用いた新事業創出・社会実装の推進

令和6年度の進捗状況

脱炭素技術の共創プロジェクト創出を図るための「**ZET-Summit**」や「**ZET-college**」の開催や先導拠点となる**スタートアップ企業向けのインキュベーション施設の整備に向けた検討**を実施

令和7年度以降の方向性

自動車業界と連携した脱炭素テクノロジーの社会実装や**脱炭素関連スタートアップ企業のオフィスとして開設した初の拠点施設である「ZET-BASE KYOTO」**における関連企業間の交流を促進

令和6年度その他取組例

家庭の省エネ機器導入への支援

- ▶ 脱炭素型ライフスタイルへの転換に向けた取組を推進するため、**家庭向けに一定の省エネ性能を有するエアコンや冷蔵庫を購入した方にポイントを還元**

- ・省エネ性能に応じて**最大20,000円相当を還元【15,630件(R6)】**
- ・ポイントは府内利用限定電子マネーや府内特産品と交換



企業における脱炭素関連投資の促進

- ▶ 再生可能エネルギーの導入支援のため、条例の義務量※を超えて太陽光発電設備を設置する**事業者に太陽光発電設備、蓄電池等の導入費用を助成【2件(R6)】**

- ※ 京都府再生可能エネルギーの導入等の促進に関する条例により一定規模以上の建築物には再エネ設備の設置が必要



到達目標及び達成状況

目標	R6実績数値 〔参考：R5〕	達成率 〔参考：R5〕
▶ 「温室効果ガス排出量削減率（2013年度比）」を2030年度までに 46% とする	※R7.8月頃公表予定 〔-〕	- 〔-〕
▶ 「府内の総電力需要量に対する府内の再エネ発電電力量の割合」を2030年度までに 25% とする	11.3% （R5年度） 〔-〕	45.2% 〔-〕
▶ 「府内の総電力需要量に占める再エネ電力使用量の割合」を2030年度までに 35% とする	20.7% （R5年度） 〔-〕	59.1% 〔-〕

⑥ 未来を拓く京都産業の実現

京都産業の強みである多様性を生かしながら、より様々な主体が連携・融合することでしなやかな産業構造を創り上げ、リスクに強く、社会課題を解決し、世界に通用するオープンイノベーションを生み出し続ける持続可能な産業社会を創造

これまでの取組

「主要な方策」に係る取組例

総合計画に掲げた主要な方策（抄）

- ▶ 産学公連携による太秦メディアパークの共創拡大に向けた、クリエイター人材の育成の促進、先端テクノロジーとの融合によるコンテンツイノベーションの創出

令和6年度の進捗状況

ゲーム・マンガなど国内外の幅広いコンテンツ関係者が集う「**BitSummit**」と連携し、コンテンツ産業の海外展開等を支援するスタートアップピッチ会「**太秦 NINJA PITCH**」（映画×スタートアップ）を「映画・ゲーム・マンガ・アニメ×スタートアップ」に拡充して実施

令和7年度以降の方向性

京都市と連携し、BitSummit、太秦 NINJA PITCH、西日本最大級のマンガ・アニメイベント「**京都国際マンガアニメフェア(京まふ)**」の3イベントの**共同プロモーションや相互連携**を行うことで、より多分野の**企業やクリエイターの交流・協業を促進し、ビジネス展開を強化**

令和6年度その他取組例

半導体産業の振興

- ▶ 京都府・京都市が連携した新たな産業振興を図るため、知事と京都市長の**トップミーティングで半導体産業の振興について合意**
- ▶ 府内全域が強みを持つ、**半導体の素材研究から半導体デザイン、生産、実装まで一貫した半導体エコシステムの構築**を目指し、MNC2024や京都産業21と連携しセミナー等を開催



【セミナー参加者数：約300人】

スタートアップカンファレンスの開催

- ▶ 京都のスタートアップが国内外の多様な投資家やビジネス人材との出会い、資金調達や海外とのネットワーク構築ができる**国内最大規模の国際イベント「IVS2024 KYOTO」**を昨年に引き続き**開催** 【参加者数：約12,000人、サイドイベント開催：300件以上】
- ▶ 国際ピッチコンテスト優勝者に「スタートアップ京都国際賞」を授与
⇒大規模・超高密度な自動倉庫システムを開発する企業が受賞



到達目標及び達成状況

目標	R6実績数値 〔参考：R5〕	達成率 〔参考：R5〕
▶ 「スタートアップ・エコシステム形成を通じたスタートアップ企業設立数(累計)」を 133件 にする	75件 (R7.3月時点) 〔34件〕	56.4% 〔25.6%〕
▶ 「京都中小企業事業継続・創生支援センターの支援を通じて成功した後継候補者マッチング件数 (累計)」を 240件 にする	163件 (R7.3月時点) 〔63件〕	67.9% 〔26.3%〕
▶ 「海外ビジネスセンター等の支援を通じて新たに設置した「京もの海外常設店・コーナー」設置数」を 50店舗 に増加させる	35店舗 (R7.3月時点) 〔35店舗〕	70.0% 〔70.0%〕
▶ 「農林水産業の産出額」を 802億円 に増加させる	— 〔862.9億円〕	— 〔107.6%〕

⑦ 文化の力で世界に貢献する京都の実現

歴史に裏付けられた、伝統文化から最先端の文化までが共存する、多様性と寛容性のある京都の文化を土台として京都から文化創造・発信を行い、多彩な交流を図ることで、活力とうるおいのある豊かな社会を築き上げ、世界に貢献する「文化の都・京都」を実現

これまでの取組

「主要な方策」に係る取組例

総合計画に掲げた主要な方策（抄）

- ▶ 世界各国のコレクターの来京を促して「京都国際アートフェア」の評価を高め、日本を代表する現代アートフェア「Art Collaboration Japan（仮称）」へと進化させることで、京都で育てた作家が国際的に評価される仕組みを構築

令和6年度の進捗状況

4回目となる国内最大級の国際アートフェア「**Art Collaboration Kyoto**」を開催

令和7年度以降の方向性

「**京都アート月間（仮称）**」を府市連携で創設し、「Art Collaboration Kyoto」をはじめとする、**府市のアートイベントを一体的に発信**するとともに、プロモーション強化を図ることで、京都のアート市場への評価を更に高める取組へと進化

令和6年度その他取組例

京都府立植物園開園100周年記念事業の実施

- ▶ **開園100周年を迎えた府立植物園**において、秋篠宮皇嗣同妃両殿下に御臨席いただいた**記念式典**や光と音と植物が織り成す**アートイベント「LIGHT CYCLES KYOTO」**等を開催【年間来場者：928,506人】



Music Fusion in Kyoto 音楽祭の開催

- ▶ 府内一円を音楽で満たす取組として、**国内外の音楽家によるコンサート**や子ども達が音楽に親しむ機会を創出
 - ・ 国内外のプロの音楽家による**室内楽コンサート**を**府内5地域**で開催【5地域、参加者：計2,196人】
 - ・ **小、中、特別支援学校での参加・体験プログラム**を実施【16校】



到達目標及び達成状況

目標	R6実績数値 〔参考：R5〕	達成率 〔参考：R5〕
▶ 「府内のアートフェア等に参加する若手アーティスト（40歳以下）の数」を 200人 に増加させる	147人 （R7.3月時点） 〔162人〕	73.5% 〔81.0%〕
▶ 「府内のアートフェア等における販売額」を 4億7,200万円 にする	4億5,176万円 （R7.3月時点） 〔4億9,730万円〕	95.7% 〔105.4%〕
▶ 「文化・芸術に関りを持つ（鑑賞・体験含む）人の割合」を 90.0% に上昇させる	61.8% （R7.3月時点） 〔63.8%〕	68.7% 〔70.9%〕
▶ 「歴史的な文化遺産や文化財などが社会全体で守られ、活用されていると思う人の割合」を 90.0% に上昇させる	82.5% （R6.6月時点） 〔83.3%〕	91.7% 〔92.6%〕

⑧ 交流と連携による活力ある京都の実現

大学の集積や大都市から地方への分散の機運を生かした多様な主体による交流と連携をベースに、それぞれの地域のポテンシャルと持続可能性を高め、国内外から人や企業を惹きつける魅力と活力に溢れる地域づくりを促進

これまでの取組

「主要な方策」に係る取組例

総合計画に掲げた主要な方策（抄）

- ▶ 2025年日本国際博覧会（略称「大阪・関西万博」）開催時のMICEの誘致強化や、府内各地の食や文化などの魅力発信、府内周遊のツアー創出など、万博を契機とした活発な交流を生み出す取組の推進



令和6年度の進捗状況

大阪・関西万博の開催に向け、**関西パビリオン京都ゾーン**の整備や運営企画、京都ラウンドテーブルをはじめとする**機運醸成イベント**などを行うとともに、学校行事として、**府内の小・中学生、高校生等が万博を体験できるよう各学校の取組を支援**するための制度を創設

令和7年度以降の方向性

万博を訪れる国内外の多くの方々に京都の各地域が持つ歴史や自然、文化や伝統を感じていただけるよう、万博会場内に**関西パビリオン京都ゾーン**を設置するとともに、京都駅に京都の万博関連情報を発信する「EKISpot KYOTO」の設置等を行う「**京都駅周辺エリアまるごとゲートウェイ**」や京都の茶文化を支える方々と一緒に各地でお茶に関する様々な事業を展開する「**きょうとまるごとお茶の博覧会**」など、**広域的に多様な主体と連携して取り組む11のフラッグシップ・アクション**などを実施

令和6年度その他取組例

「大学・学生とともにのばす京都プロジェクト」の実施

- ▶ 大学、行政の連携により「**大学・学生のまち京都**」の**魅力の充実・強化を図る**ため、大学等の「知」の活用や学生の活躍による京都の未来づくりを推進する「**大学・学生とともにのばす京都プロジェクト**」を実施
【23大学、52プロジェクト】



府市連携での周遊観光の推進

- ▶ **京都府と京都市が連携して「周遊」をコンセプトとした観光を推進**するため、「**まるっと京都**」をキャッチコピーとして、周遊モデルツアーの造成促進などを実施
【30コースを造成、延べ参加者1,995人】



到達目標及び達成状況

目標	R6実績数値 〔参考：R5〕	達成率 〔参考：R5〕
▶ 「京都府への移住者数（累計）」について 7,000人 をめざす	1,787人 （R7.3月時点） 〔1,210人〕	25.5% 〔17.3%〕
▶ 「住んでいる地域（市町村）の観光資源が活用されていると思う人の割合」を 63.0% に上昇させる	44.4% （R6.6月時点） 〔49.2%〕	70.5% 〔78.1%〕
▶ 「プロスポーツをテレビやインターネットではなく、会場で観戦したいと思う人の割合」を 70.0% に上昇させる	57.5% （R6.6月時点） 〔58.5%〕	82.1% 〔83.6%〕

●人・物・情報・日々の生活の基盤づくり

府民の暮らしを支え、新たな地域づくりを加速化させる人・物・情報・日々の生活の基盤づくりを進め、府内全ての地域で一人ひとりの夢や希望が叶えられ、地域の夢を実現できる京都づくりを促進

これまでの取組

「主要な方策」の取組例

総合計画に掲げた主要な方策（抄）

- ▶ 山陰近畿自動車道の早期全線開通に向けた整備とルート確定の促進

令和6年度の進捗状況

山陰近畿自動車道（網野～久美浜）計画検討委員会における検討を経て、**ルート帯を決定**

令和7年度以降の方向性

都市計画の決定に向け、**詳細なルートを検討**



令和6年度その他取組例

交流基盤の充実

- **主要地方道宇治木屋線（犬打峠）鷲峰山トンネルが開通**し、建設中の新名神高速道路へのアクセスが向上するとともに、宇治田原町、和束町間の所要時間が約15分短縮されることで地域間の交流、連携、地域産業の振興に寄与

地域モビリティサービスの実証運行を支援

- 交通空白地での自動運転の実証運行など**地域公共交通確保のための取組を支援【2市町村】**



京都府総合計画の令和6年度の実施状況

～8つの広域連携プロジェクト～

●は総合計画策定時に計画に盛り込んだ方策の取組状況

◎は策定時に想定していなかった新たな連携方策の実施状況

① 産業・物流広域連携プロジェクト

プロジェクト全体の取組状況

地域の特性に応じたテーマのもとに世界から注目される特徴的な産業の集積を図る「産業創造リーディングゾーン」の形成に向け、シルクテキスタイル産業やフードテック産業の拠点整備を進めるとともに、物流やスポーツ&ウェルネスをはじめとする分野で企業や大学等を巻き込んだ勉強会、現地視察会や調査を実施するなどの広域連携に取り組んだ。

方策毎の令和6年度の成果

- 府内各地における産業創造リーディングゾーンの形成

【シルクテキスタイル産業】



令和6年6月オープン

- ▶ 拠点整備とオープンイノベーションの展開を一体的に進めるため、丹後織物工業組合加工場のリノベーションを支援。京都の染織事業者と国内外のデザイナー等が交流することで商品開発や染織技術の新たな活用を促すための丹後地域における受入拠点を開設

- 府内各地における産業創造リーディングゾーンの形成【フードテック産業】

- ▶ 機能性加工食品等の開発拠点として宇治市に新設する「京都プレミアム中食オープンイノベーションラボ」の基本計画の策定や、情報集約・共同研究のためのネットワークにおける会員間の連携や交流を促すため、セミナーや交流会等を実施

【会員数156団体288人】

② 環境広域連携プロジェクト

プロジェクト全体の取組状況

「共生による環境先進地・京都」の実現をめざし、海洋環境保護活動を行う国際的なNGOとの新たな連携協定を通じた水産資源保全の取組や、金融機関と連携した中小企業の脱炭素化支援など、環境・経済・社会の好循環を創出するための広域連携に取り組んだ。

方策毎の令和6年度の成果

- ◎ 国際的な環境団体と連携し、持続可能な水産資源の利活用を推進

- ▶ 海洋資源の持続的かつ有効な利用を図ること等を目的に、「一般社団法人セイラズフォーザシー日本支局」と締結した包括連携協定に基づき、府内の持続可能な水産物を紹介する「ブルーシーフードガイド京都府版」を発行



- 環境NPO・研究機関・企業等と連携し、オール京都で脱炭素化に一体的に取り組む組織づくりを推進

- ▶ 地域金融機関等と連携し、脱炭素化に取り組む府内企業へ金利優遇する仕組みである京都ゼロカーボン・フレームワーク等を活用し、中小企業の脱炭素化に向けた体制を整備【利用件数：45件】

③ 文化・スポーツ広域連携プロジェクト

プロジェクト全体の取組状況

文化団体等と連携し、府内各地の子ども達の生活文化等の体験機会を新たに創出するとともに、関係団体と連携し、和食文化の普及を図るための国内外への情報発信を行うなど、人々の絆を核にした交流の好循環を起こす広域連携に取り組んだ。

方策毎の令和6年度の成果

- ◎ 「文化の心」を次世代へ継承するため、茶道・華道等の生活文化を深く知る機会の創出



- ▶ **文化団体等と連携**し、質の高い生活文化や地域に根差した文化芸術が**府内全域の小・中・高・特別支援学校等で体験・体感**できる機会を提供
【開催件数：147件、参加者数：12,552人】

- 世界遺産である和食や日本人の伝統文化を支える人材育成

- ▶ **日本料理アカデミーと連携し、日本料理の技法や歴史、文化等をデジタル化・海外発信**するとともに、海外の料理人も対象にした日本料理のコンペティションを開催
【コンペティション出場応募者総数：102人（うち外国籍6人）】



④ 観光・交流広域連携プロジェクト

プロジェクト全体の取組状況

府内各地で風情ある景色を生み出す「川」をテーマに周遊観光を促す「川の京都」を新たにブランディングするとともに、大河ドラマを契機に関連する自治体等と連携し、京都の歴史と新たな観光コンテンツを活かした観光プロモーションなど、広域的な交流と連動した地域づくりの活性化につなげる広域連携に取り組んだ。

方策毎の令和6年度の成果

- ◎ 新たな観光テーマによる府県を越えた広域観光の推進



- ▶ 「川」を**新たな観光コンテンツ**として活用し、大阪など**府県を越えた周遊観光**を促進するため、シンポジウムの開催等を通じた関係者のネットワーク構築など、**府内の川で活動する団体等が連携**した「川の京都」のブランドの取組を推進
【シンポジウム参加者数：143人】

- ◎ 京都の歴史文化を生かした新たな観光プロモーションの推進

- ▶ 京都が舞台となったNHK大河ドラマ「光る君へ」の放送をきっかけに、ドラマに登場する人物や出来事に**ゆかりのある他府県の自治体とも連携**し、大規模**パブリックビューイングの実施**等を通じて、京都の文化や地域の魅力を広く発信
【パブリックビューイングの参加者数：1,315人】

⑤ 京都府北部地域連携都市圏広域連携プロジェクト

プロジェクト全体の取組状況

京都府北部における持続可能な地域づくりに向け、ローカル鉄道の活性化に資する取組を実施するとともに、地域に必要な医療を持続可能なものとして効率的、安定的に提供するための体制を確保するなど、地域の基盤整備を推進した。

方策毎の令和6年度の成果

● 首都圏及び阪神圏を見据えた広域観光の推進（公共交通機関との連携強化）

▶ 京都丹後鉄道利用促進協議会など地域の関係団体と連携し、宮津線100周年を記念した「丹鉄フェスティバル2024」を開催【参加者数：約800人】

▶ 「宮津線の次の100年に向けて」をテーマに、丹後地域の未来を考える知事と地域振興に取り組む方々との意見交換を実施【傍聴者数：約100人】



● 医療機関間の機能分担と連携強化による持続可能な医療提供体制の確保

▶ 医師偏在や診療科偏在がある中、府内のどこでも安心・安全に分娩できるように、北部の分娩取扱施設等の施設間で妊産婦の患者情報を共有するための「妊産婦モニタリングシステム」を導入する施設を支援

【新たにシステム導入した分娩取扱施設：10施設】

⑥ 南丹地域スポーツ&ウェルネス&ニューライフ広域連携プロジェクト

プロジェクト全体の取組状況

地域の豊富なスポーツ拠点を核に、産学公実証によるスポーツ&ウェルネスの実現に向けて多様な企業との交流を進めるとともに、府民や旅行者がスポーツに触れ親しむことができる環境づくりを推進した。

方策毎の令和6年度の成果

● スポーツ&ウェルネス、フードテック産業などクロス産業集積エリアの創出

▶ スポーツ&ウェルネス等をテーマとした新産業創造に向け、関連企業や団体等の交流の場を設定するとともに、地域のスポーツイベントと連携し、スタートアップ企業の技術を活用した実証事業を実施【交流会延べ参加数：54企業・団体】

● スポーツ、食や癒やしによる健康長寿づくりの先進モデル地域づくり

▶ サイクリスト向けのサービスを提供する民間施設等と連携し、サイクルコース周辺の主要観光地を巡るスタンプラリーの開催など京都丹波エリアにおけるサイクルツーリズムを推進【完走者数：598人】



⑦ 京都府南部イノベーションベルト広域連携プロジェクト

プロジェクト全体の取組状況

令和5年にオープンした「アート&テクノロジー・ヴィレッジ京都（ATVK）」を拠点とした産学公連携でのオープンイノベーションを促進するとともに、スポーツ施設を核に周辺地域の活性化を図るまちづくりに向けた検討などの取組を推進した。

方策毎の令和6年度の成果

- 多くの大学や、日本を代表する企業が集積する強みを生かし、京都の文化を生かしたアートとテクノロジーが融合した産業や人材の育成



▶ 入居企業をはじめ、**様々な企業等の交流や連携を促し、新たなビジネス創出等につながることを目的に**設置しているテーマ別部会に、「アート思考」による新たなものづくりやビジネスの開発等を議論する**「アート部会」を新設**

▶ 京都のものづくり企業をはじめ、**産学公のブース出展やワークショップ等により、子どもの知的探究心を育む「京都子ども探究博」を開催**【出展数：35団体、参加者数：約2,000人】

- ◎ スポーツ施設を核とした新たなにぎわいを創出するまちづくりの推進

▶ 競輪場やアリーナの整備をきっかけに、**向日市をはじめとする周辺市町との協働**により、周辺地域の活性化を図るため、スポーツや経済振興、多世代交流や地域ブランドの向上など、**地元と一体でまちづくりの検討**を実施

⑧ グレーターけいはんな広域連携プロジェクト

プロジェクト全体の取組状況

大阪・関西万博に合わせて開催する「けいはんな万博」の機運醸成に向けた取組を推進するとともに、万博後も見据え、次世代技術の開発に必要な遠隔操作や自動運転等の持続可能な実証環境の整備などを行った。

方策毎の令和6年度の成果

- ◎ 新たなつながりを生み出す万博に向けた機運醸成



▶ **地元市町や立地企業等と連携した協議会を立ち上げ、「けいはんな万博」の開催に向け、「ロボット・アバター」他4つのテーマに沿ったプレイベント等を開催**
【協議会参画：73団体、プレイベントの参加者数：4,410人】

- 関西文化学術研究都市における高次研究機関の集積を生かし、地域の人々が幸福を感じる「サステナブルスマートシティ」の実現をめざした新たなイノベーションの創出

▶ **ロボットの遠隔操作や自動運転等に必要となるローカル5G基地局**やWi-Fi環境等を整備するなど、**次世代技術の開発に向けた持続可能な実証環境を構築**

京都府総合計画の令和6年度の実施状況 (参考) 数値目標

令和6年度の実施状況 (数値目標)

参考資料1 参照

【R7.8.15現在】

- ▶ 令和6(2024)年に参考年間目標(※)を達成した項目(100%以上)は48.6%、**70%以上となる項目については約9割**となる見通し

令和6年度対象項目数	72	(割合)
参考年間目標に対する達成率が70%以上	66	(91.7%)
〃 80%以上	62	(86.1%)
〃 90%以上	52	(72.2%)
〃 100%以上	35	(48.6%)

- ▶ 項目数は112あるが、R6に参考年間目標の設定がない、またはR7.8.15時点で数値が未公表等の40項目を除いた72項目で集計

※計画満了年度に最終目標数値を達成するために、各年度に達成すべき目標数値

令和6年度の実施状況（数値目標）

分野	指標数	項目数 ※	R6 対象 項目数	参考年間目標の達成率			
				70% 以上	80% 以上	90% 以上	100% 以上
①希望あふれる子育て	7	7	6	5	5	4	2
②夢を実現する教育	6	10	6	5	5	5	4
③安心できる健康・医療と人生100年時代	7	12	2	2	2	1	1
④安心できる介護・福祉の実現	4	4	2	2	2	2	0
⑤人権が尊重される社会	4	4	3	3	3	2	0
⑥男性も女性も誰もが活躍できる社会	4	4	4	3	2	2	0
⑦障害者が暮らしやすい社会	5	5	0	0	0	0	0
⑧留学生・外国人が生き生きと暮らせる社会	3	3	2	2	2	2	1
⑨コミュニティが大切にされる社会	7	7	7	5	5	5	4
⑩誰もが親しみ夢が広がるスポーツ	4	4	3	3	3	2	2
⑪文化力による未来づくり	4	4	4	3	3	2	1
⑫産業の創出・成長・発展と継承	6	6	5	5	5	4	3
⑬交流機会を創出する観光	4	4	4	4	3	3	3
⑭雇用の安定・確保と人材育成	7	7	5	5	4	4	3
⑮農林水産業の成長産業化	6	6	3	3	3	2	2
⑯しなやかで災害に強い地域	4	4	3	3	3	3	2
⑰犯罪や事故のない暮らし	4	4	2	2	2	2	1
⑱脱炭素社会へのチャレンジ	5	5	0	0	0	0	0
⑲成長・交流・情報・暮らしの基盤づくり	3	3	2	2	1	0	0
⑳もうひとつの京都の推進と地域連携	9	9	9	9	9	7	6
合計	103	112	72	66	62	52	35

※基本計画に掲げた数値目標103指標のうち、校種別、男女別、部位別に数値目標を掲げている指標について、それぞれを別項目としてカウント

令和5年度における 進捗状況について

① 安心できる健康・医療・福祉の実現

8つのビジョンと
基盤整備

人生100年時代に対応した、府民が安心して地域生活を営める、危機に強い健康・医療・福祉システムを創り上げ、質の高い、持続可能な医療・介護・福祉サービスを府内のどの地域でも受けられる環境を実現

初年度（令和5年度）の主な成果

循環器病相談体制の整備

- 脳卒中・心臓病に特化した専門性とネットワークを有する京都府立医科大学附属病院等において、循環器病に係る相談対応等を行う「**脳卒中・心臓病等総合支援センター**」を運営し、循環器病患者・家族への支援を実施 【相談件数：966件】



児童虐待の未然防止への取組

- 保護児童の養育に関して専門的ノウハウを有する丹後地域の児童福祉施設（乳児院）に「**丹後こども家庭支援センターCOCO**」を開設し、府北部地域における児童虐待の未然防止・早期発見を行う体制を強化 【相談件数：82件】



② 災害・犯罪等からの安心・安全の実現

8つのビジョンと
基盤整備

あらゆる分野に潜むリスクに対し、危機を未然に防ぎ、被害を最小限に抑える対策や仕組みづくりを進め、府民との信頼関係を度立ちに、あらゆる危機事象に迅速かつ的確に対応できる危機に強い京都づくりをオール京都で構築

初年度（令和5年度）の主な成果

危機管理センターの整備

- 自然災害や大規模事故等のあらゆる危機事象に迅速・的確に対応し、国等の応援受入にも対応できる拠点として、常設の危機管理センターを整備し、令和6年3月に主要な機能を運用開始



災害現場の早期復旧

- 大規模な浸水、土砂災害等に備えた総合的な防災・減災対策を行うとともに、令和5年台風第7号被害に係る災害復旧、被災者の生活再建支援、農業者・中小企業者の復興支援等を実施



③ 子育て環境日本一・京都の実現

8つのビジョンと
基盤整備

「社会で子どもを育てる京都」の実現に向け、「子育て環境日本一」の取組を進化

初年度（令和5年度）の主な成果

子育て支援医療助成制度の拡充

- 子育て家庭の経済的負担の軽減を図るため、京都子育て支援医療助成制度を拡充し、3歳～小学校卒業までの通院に係る自己負担の上限額を大幅に引き下げ

現 行	入院	中学校卒業まで：200円/月・医療機関
	通院	0～2歳：200円/月・医療機関 3歳～中学校卒業まで：1,500円/月
拡 充 後	入院	中学校卒業まで：200円/月・医療機関
	通院	小学校卒業まで：200円/月・医療機関 中学生：1,500円/月

子どもの教育のための総合交付金の創設

- 教育環境日本一に向け、「子どもの教育のための総合交付金」を創設し、語学力の向上や一人一台端末を活用した学習の充実、地元食材の活用等による食育の充実など市町村による「地域の実情に応じた特色ある取組」や「他の市町村のモデルとなる取組」を支援



④ 誰もが活躍できる生涯現役・共生京都の実現

8つのビジョンと
基盤整備

地域や社会との絆を大切にしながら、新たな働き方や多様な価値観の広がりを踏まえた機会の提供や能力の開発を進め、包括的で多様な人材がより社会参画・活躍できる共生社会を実現

初年度（令和5年度）の主な成果

リカレント教育の充実

- 京都府生涯現役クリエイティブセンターの支援対象を全世代に拡大するとともに、リカレント教育の機運醸成のため「京都学び直し体感フェア2023」を開催



女性活躍支援

- 女性の様々なニーズに対応するため、「京都ウィメンズベース」、「マザーズジョブカフェ」、「京都府男女共同参画センター（らら京都）」、「京都府生涯現役クリエイティブセンター」が連携し、女性のキャリア形成等の支援を実施



中核人材育成研修

⑤ 共生による環境先進地・京都の実現

8つのビジョンと
基盤整備

ライフスタイルの変化を環境負荷の低減につなげ、環境に配慮した活動を地域経済の活性化につなげる、環境×暮らし×経済の好循環をめざす、環境と共生した社会づくりを推進

初年度（令和5年度）の主な成果

生物多様性センターの設立

- 京都の伝統文化や暮らしを支えてきた「京都の自然の恵み」を守り、次世代につなぐため「きょうと生物多様性センター」（名誉センター長：山極 壽一 総合地球環境研究所長）を府市協調で設立し、生物多様性保全の取組を展開【令和5年4月運営開設】



ゼロカーボンまちづくりの推進

- 脱炭素関連技術を組み合わせた共創プロジェクトを創出するオープンイノベーション拠点「ZET-valley」に必要な機能、設備等を検討するとともに、国内外の関連スタートアップ企業と大企業等の交流の場として「ZET-summit」を開催

【参加者数：約2,500人、マッチング数：126件】



「ZET-summit2024」の開催（R6.2.6～7）

⑥ 未来を拓く京都産業の実現

8つのビジョンと
基盤整備

京都産業の強みである多様性を生かしながら、より様々な主体が連携・融合することでしなやかな産業構造を創り上げ、リスクに強く、社会課題を解決し、世界に通用するオープンイノベーションを生み出し続ける持続可能な産業社会を創造

初年度（令和5年度）の主な成果

スタートアップカンファレンスの開催

- スタートアップ企業の海外展開を促進するため、海外企業と競い合うピッチ会や投資家等との商談を行う **国内最大規模の国際イベント「IVS2023 KYOTO」を開催**
【参加者数：約10,500人（うち海外からの参加者数 約2,200人）】
- **「スタートアップ京都国際賞」を創設**し、受賞企業に最大1,000万円を支援。



外国人起業家の支援

- 府内で起業を目指す外国人起業環境の充実に向け、起業・定着までのワンストップ支援窓口 **「京都インターナショナルスタートアップセンター」を開設** 【令和5年7月】



⑦ 文化の力で世界に貢献する京都の実現

8つのビジョンと
基盤整備

歴史に裏付けられた、伝統文化から最先端の文化までが共存する、多様性と寛容性のある京都の文化を土台として京都から文化創造・発信を行い、多彩な交流を図ることで、活力とうるおいのある豊かな社会を築き上げ、世界に貢献する「文化の都・京都」を実現

初年度（令和5年度）の主な成果

文化庁の京都移転を契機とした文化振興

- 文化庁京都移転を契機とした新たな文化施策の展開に向けて、京都中を文化で彩る取組として、**文化庁京都移転 記念事業Opening Celebration「きょう ハレの日、」**を市町村等と連携して府内各地で開催



写真：福羅広幸（兄弟エレキ）



国際的なアートフェアの開催

- 京都を現代アートの制作・発表・販売の世界的拠点とすることを目指し、**日本と海外のギャラリー、行政と民間など様々なコラボレーションをコンセプトにした日本最大級の国際的アートフェア「Art Collaboration Kyoto」**をはじめ、国際的なアートフェアを開催

「Art Collaboration Kyoto」
(R5.10.28~30)



<Art Collaboration Kyotoにおける実績>

出展ギャラリー：**64軒**（国内35軒、海外29軒）

入場者数（延べ）：**約20,400人** 販売成約額：**約4億円**

⑧ 交流と連携による活力ある京都の実現

8つのビジョンと
基盤整備

大学の集積や大都市から地方への分散の機運を生かした多様な主体による交流と連携をベースに、それぞれの地域のポテンシャルと持続可能性を高め、国内外から人や企業を惹きつける魅力と活力に溢れる地域づくりを促進

初年度（令和5年度）の主な成果

「大阪・関西万博」の開催

- 有識者や経済団体等からなる **オール京都の推進体制の「大阪・関西万博きょうと推進委員会」を設置**の上、**「大阪・関西万博きょうとアクションプラン」を策定**し、万博を契機として、府内各地に人や投資を呼び込むための機運醸成や誘客促進に取り組むとともに、ゲートウェイとなる**万博会場内の京都ブースの基本設計**を実施



大学生の活躍機会の創出

- 大学、行政の連携により「大学・学生のまち京都」の魅力を実践強化するため、「京都府地域共創大学連携会議」において、大学と連携して実施する共同事業を募集し、**学生の活躍が見込まれる府政分野における共同事業を実施**するなど、「学生とともにのぼす京都プロジェクト」を推進



「学生とともにのぼす京都プロジェクト」

●人・物・情報・日々の生活の基盤づくり

8つのビジョンと
基盤整備

府民の暮らしを支え、新たな地域づくりを加速化させる人・物・情報・日々の生活の基盤づくりを進め、府内全ての地域で一人ひとりの夢や希望が叶えられ、地域の夢を実現できる京都づくりを促進

初年度（令和5年度）の主な成果

交流基盤の充実

- 都市計画道路宇治田原山手線の供用開始**により、建設中の新名神高速道路へのアクセスが向上することで、地域間の交流、連携、地域産業の振興に寄与

京都舞鶴港の整備

- 京都舞鶴港の港湾施設の整備**を行い、対岸諸国との物流拠点や府北部の地域振興拠点づくりを推進



【舞鶴国際ふ頭】Ⅱ期整備



宇治田原山手線

方策毎の取組状況（例）

総合計画に掲げた主要な方策（抄）

- 山陰近畿自動車道の早期全線開通に向けた整備とルート確定の促進

令和5年度の進捗状況

国庫補助を活用し、山陰近畿自動車道に係る**基礎調査を実施**

令和6年度以降の方向性

有料化に向けた設備更新、道路利用者への周知広報

京都府総合計画の令和5年度の実施状況 ～ 8つの広域連携プロジェクト～

① 産業・物流広域連携プロジェクト

広域連携プロジェクト

プロジェクト全体の取組状況

地域毎の強みを生かしながら、次代を担う企業や産業を創造していくための拠点づくりに府内各地で取り組むとともに、リーディングゾーン全体の磨き上げや、取組の更なる展開を図るため、広報・企業誘致を一元的に行う体制を構築し、産・学・公が連携して行う新技術の実証実験等への支援を行った。

方策毎の令和5年度の成果

■ 府内各地における産業創造リーディングゾーンの形成【アート&テクノロジー】

- ▶ 「アート&テクノロジー・ヴィレッジ京都（ATVK）」を開設（令和5年10月）し、国内外の企業等が参画するテーマ別部会を設置するなどATVKを核にオープンイノベーションに取り組む産学公連携のグループを形成



■ 府内各地における産業創造リーディングゾーンの形成【シルクテキスタイル産業】

- ▶ 「シルクテキスタイル・グローバル推進コンソーシアム」を核として、西陣織・京友禅・丹後織物の3産地が連携し、産地を支える生産体制の再構築を図るとともに、新たなマーケット開拓等を実施



② 環境広域連携プロジェクト

広域連携プロジェクト

プロジェクト全体の取組状況

2040年の京都府社会の姿として、地球環境と調和した、しなやかで強靱な「共生による環境先進地・京都の実現」を実現するため、カーボンニュートラルの実現、自然環境の保全と継承、新技術による3Rの推進など、環境・経済・社会の好循環を創出する広域連携に府域全域で取り組んだ。



方策毎の令和5年度の成果

■ 産学公が連携し、水素などの新技術や3R技術等の活用による地域課題解決を推進

- ▶ **長田野工業団地において、現地で製造した水素を巡回供給**し、燃料電池フォークリフトで活用する**地産地消の実証事業**を行うとともに産業分野における水素利活用の推進のため、**府内全域の事業者等に対するセミナー**を実施



■ 次代を担う子どもたちの豊かな感性を養い育成する自然体験プログラムや環境学習を展開

- ▶ **次世代を担う小学生や中学生に、気候変動問題について学ぶ機会を提供**するため、**府内全域の小中学校へ周知**を行い、家族でCO2を出さない生活や未来について考えていただく取組や環境学習の動画を活用したオンライン環境学習教室を開催

③ 文化・スポーツ広域連携プロジェクト

広域連携プロジェクト

プロジェクト全体の取組状況

地域の文化やスポーツを活用して、地域間の交流を促進し、文化の都・京都の発信や京のジュニアスポーツアカデミー構想の推進などにより、交流の好循環を起こす広域連携に府域全域で取り組んだ。

方策毎の令和5年度の成果

■ 子どもたちがやりたいスポーツに取り組めるよう、「京のジュニアスポーツアカデミー（仮称）」を創設



- ▶ 「京のジュニアスポーツアカデミー（仮称）」の創設に向け、**府内各地域の新たなスポーツ環境の構築に向けた検討会議を開催**するとともに、**府内全域の児童生徒のニーズや意向の調査**を実施

■ プロスポーツチームと連携した交流事業やトップアスリートのプレーを身近に触れることのできる機会の提供

- ▶ 府内プロスポーツチームに所属するトップアスリート等を招聘し、**子ども達が様々な競技をアスリートと体験できる交流会を実施**

プロジェクト全体の取組状況

新しい産業観光の推進やミニMICEの誘致、地域と連携して活動することのできる拠点の整備など、広域的な新たな交流と連動した、地域の活性化につながる広域連携に府域全域で取り組んだ。

方策毎の令和5年度の成果

■ 都市と田園が共存する強みを生かしたミニMICEの誘致

- ▶ 公益財団法人京都文化交流コンベンションビューローが実施する**府内各地への国際会議誘致活動や企業インセンティブツアー等**の取組を支援【国際会議開催件数：180件、参加者数：109,562人】



■ オープン工房・オープンファームなど新しい産業観光の推進

- ▶ 生産地エリアでの地域の食材を活かした魅力向上を図るため、**京都府内各地の食を中心とした観光体験を紹介する動画制作**及びWeb配信を実施【動画数：4本（海の京都、森の京都、お茶の京都、竹の里・乙訓エリア）】
- ▶ 京都市中央卸売市場第一市場新水産棟内に**府市協調で「食の京都」の情報発信拠点を設置**、オープニングイベント開催時に、**府内各地の食材の物販イベント等**を実施



⑤ 京都府北部地域連携都市圏広域連携プロジェクト

プロジェクト全体の取組状況

京都府北部の広域連携を推進するため、歴史文化や豊かな自然環境等の地域資源を活かした産業拠点の形成を図るとともに、持続可能な地域づくりを目指し、観光や産業、教育等の各分野で連携・協働して取り組む施策を進めた。

方策毎の令和5年度の成果

■ 地域における脱炭素、資源の水平リサイクル等の取組と連携するサステナブル産業の集積拠点の形成

- ▶ 宮津エネルギー研究所跡地を活用し、サステナブル産業の企業集積地（サステナブルパーク）を目指し、土地所有者である**関西電力や地元宮津市と連携し、関西圏企業をはじめとする様々な分野の参加企業を募り、土地活用に向けた勉強会**を実施



■ 首都圏及び阪神圏を見据えた広域観光の推進（文化・観光拠点の設置、公共交通機関との連携強化）

- ▶ 丹後地域の歴史・文化・観光の拠点施設となる博物館を目指し、丹後郷土資料館をリニューアル整備するため、基本設計等を行うとともに、**整備後の活用に向けて、地元と連携した文化観光フォーラムを開催**



⑥ 南丹地域スポーツ&ウェルネス&ニューライフ広域連携プロジェクト

プロジェクト全体の取組状況

南丹地域のスポーツ拠点を核に、産学公実証によるスポーツ&ウェルネスの実現に向けて多様な企業との交流を進めるとともに、スポーツ・食や癒しによる健康長寿づくりの先進モデル地域を目指したウェルネスツーリズムの商品化等を実施した。

方策毎の令和5年度の成果

■ 産学公連携によるスポーツ&ウェルネスの実現に向けた実証と人材育成

- ▶ 南丹地域のスポーツ拠点への関西経済連合会の視察受入等を契機に、**府域にとどまらないスポーツ・ウェルネス等に関連する多様な企業や大学・金融機関等との連携**を図るためのヒアリングを実施するとともに、サンガスタジアム by KYOCERAにおいて、幅広く情報交換、意見交換を行う交流会を開催

■ スポーツ、食や癒やしによる健康長寿づくりの先進モデル地域づくり

- ▶ 南丹市・京丹波町全体を「森のホテル」と捉え、**域内の宿泊施設、観光施設、飲食店と連携、森の京都ならではの価値の高い癒しのひとときを提供**するウェルネスツーリズムを商品化



⑦ 京都府南部イノベーションベルト広域連携プロジェクト

プロジェクト全体の取組状況

京都府南部地域の産業、大学・教育機関や研究機関が集積する強みを生かし、新たな産業や価値を生み出し、京都の成長エンジンとなる地域をめざして拠点整備や連携強化を図った。

方策毎の令和5年度の成果

■ 関西文化学術研究都市等の研究機関と連携し、新名神周辺エリアで、ゼロエミッション、自動走行などの先端技術を盛り込んだ近未来都市を形成

- ▶ 先行して開発が予定される**基幹物流施設などの事業者と意見交換**を進めるとともに、中間エリア（新名神高速道路以南の今後の開発予定地）の検討について、11月に城陽市が国交省のサウンディング調査に参加



■ 映画・ゲーム・アニメ・マンガ関連企業が集積するという世界でも珍しい京都の魅力を生かした、メタバース時代をリードするコンテンツ産業の育成

- ▶ コンテンツ関連企業と異業種との交流・共創・実証に向けて、集積企業のラボを設置し、社会実装まで完結できる**メディアパークの具体化に係る調査検討**を実施するとともに、**産学連携による新産業創出のための情報交換**等を実施

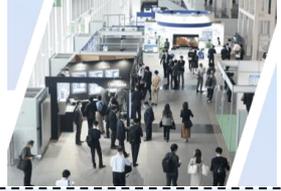
⑧ グレーターけいはんな広域連携プロジェクト

プロジェクト全体の取組状況

関西文化学術研究都市における研究機関等の集積を生かした都市づくりを進め、新たなイノベーション創出を目指した交流を促進するとともに、相楽東部地域における交流人口・関係人口の拡大に向けた取組を地元自治体と連携して行った。

方策毎の令和5年度の成果

- 国内外のオープンイノベーション拠点やスタートアップ企業等との連携によるオープンイノベーションの促進



- ▶ 「**京都スマートシティエキスポ**」の開催など、**スマートシティの推進を軸としたスタートアップ企業の集積・交流**を通じ、文化と学術研究が融合したまちづくりを促進【京都スマートシティエキスポにおけるビジネスマッチング件数：42件】

- きづ川アクティビティパークの整備

- ▶ **周辺都市部からの交流人口、関係人口の拡大**を図るため、相楽東部（笠置町、和東町、南山城村）の豊かな「自然」を満喫できる「**京都きづ川アクティビティキャンペーン**」等を**地元町村と連携して開催**



<総合計画策定時には想定していなかった新たな連携方策の創出状況>

「環境」や「観光・交流」等の分野において、社会経済情勢の変化等を踏まえた、**府内全域に広がる新たな連携方策を創出**（補正予算等において事業化し実施）

令和5年度の成果

- 地域金融機関と連携した、中小企業の脱炭素化への支援【環境】

- ▶ **地域金融機関と連携し、脱炭素に取り組む府内全域の中小企業等への融資金利を優遇する仕組みを創設**（京都ゼロカーボン・フレームワーク）し、住宅用太陽光発電設備の設置等を支援することで、中小企業の脱炭素化を促進



【令和5年11月に「プラチナ大賞」（（一社）プラチナ構想ネットワーク）を受賞】

- 公共交通機関を利用した周遊観光の促進【観光・交流】

- ▶ **位置情報アプリを活用した府域周遊観光イベント**を開催するとともに、公共交通機関及び府内観光施設等でのスタンプ取得により、**抽選で府内産品等をプレゼント**し、**府内全域への周遊観光を促進**